

町政を問う

いのち、くらし
エコ

福祉と防災の町に！



台風12号災害（久古地内）



幅田 千富美

**住民参加で
防災計画の見直しを**

町長 県の指針に

沿って見直す

**すくに対応すべき
喫緊の課題は何か**

町長 災害別に

避難所を見直す

幅田 東日本大震災、津波、原発事故から半年、今だ復旧、復興のメドすらたっていない。二万人からの尊い人命を失った。先の十二号台風被害、昨年からの猛暑、ゲリラ豪雨、豪雪と、町民の被

害も甚大だ。平成十九年町の防災計画たててはいるが、今回の教訓踏まえ、見直しが必要だが、町長は、この教訓から何を学び、町づくりはどう生かすのか、基本姿勢を問う。

町長 県の指針に沿い、害も甚大だ。平成十九年町の防災計画たててはいるが、今回の教訓踏まえ、見直しが必要だが、町長は、この教訓から何を学び、町づくりはどう生かすのか、基本姿勢を問う。

すくに対応すべき課題

幅田 町がすくに対応しなければならぬ課題は何なのか、問う。

町長 十二号台風の経験からも、災害の種類に応じた避難所の見直しを早急にしたい。

幅田 たったのそれだけか、具体的な提案をする。①危険箇所の総点検 ②学校、保育園に放射能測定器の設置 ③国は学校を避難、防災施設として五ヶ年次内の耐震化、施設充実を、補助金のカサ



台風12号災害（半川地内）

校は防災施設として、順次、充実を図る。

上げし、促進している。その対応。④原発ゼロ、エコの町づくり ⑤住民の安心、安全、人命第一の福祉の町づくりのために、人の確保と体制の改善を！

町長 西部広域で一体的対応を基本に、各種ケースに応じて改良、改善を図る。防災、エコエネルギー確保に力を注ぎ、学

幅田 ○介護保険制度の見直しの時期、住民の声を生かした改善を○社会保障と税の一体改革は、地域住民、地方政治にどう影響が生まれるか。いのち、くらしを守る地方政治を要望します。